

リーダー人材を育てる本学独自のプログラム 市大塾

■市大塾

2017年に創設。正式名称は広島市立大学塾。
リーダー人材を育成する本学独自の正課外の教育プログラム

目的：リーダーシップに関する能力、資質、行動力を養う。

塾生数：現在は第6期8名（第5期までの修了者は55名）

活動：1年間、平和、人権、地域をテーマに、学内外で約30回の活動を行う。学部・学年を越えた本音のディスカッションや現場での体験を通じ、リーダーとしての高い社会性や倫理観を培い、人間力とは何かについて学んでいる。

担当：若林真一（学長・塾長）、國本善平（特任教授・副塾長）



第6期塾生

■修了生の声 -市大塾最終レポートより-



第5期修了
河野 光
(情報科学部)

◆Voice◆

リーダーとは何か。人には得意なこと、苦手なことがあると思う。それを補い合うのが人間というもので、リーダーはそこを見抜いて、全員が得意な分野で輝けるようにしてあげる人だと思う。それには経験とある程度の知識も必要で、1年間、市大塾で目にして経験した実体験をこれからの将来に生かしていきたい。



第5期修了
松崎 琴星
(国際学部)

◆Voice◆

私が市大塾で学んできた1年間という期間は実りあるものだった。特に、地域リーダーと出会い、生かしていきたいことがあった。それは、物事を多面的に捉えること、そして何事も知ろうとすること、そして自分に対して深堀をしてみるということである。身近に活躍する彼らだからこそ、このようなことを学ぶことが出来たのだと思う。



第5期修了
林 莉子
(国際学部)

◆Voice◆

リーダーシップには、自身の思いをどれだけ貫き、どれだけ人に働きかけられるかということが重要だと感じるようになった。そのやり方は十人十色で、誰のやり方が良いという答えは一概には言えない。だからこそ、まず自分のやりたいことに真摯に向き合うこと、そして、それを行動に移すために自分自身の性格を活かすことが求められていると学んだ。

■リーダーの段階

社会をリードする (Lead the Society)

人々をリードする (Lead the People)

他者をリードする (Lead the Others)

支援・分担する (Followership)
(Shared Leadership)
(Servant Leadership)

自らをリードする (Lead the Self)

市大塾の対象範囲



リーダーシップ概論



被爆体験証言を考える (広島平和研究所四條准教授)



似島の戦跡と平和資料館を訪ねる



玉田陽子さんの伝え方講座



チャレンジする生き方 (ひろしまジン大学平尾氏)



回天記念館と訓練場跡を訪ねる (周南市)



ビブリオバトル@市大塾